

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立泊高等学校  
校長 前里 哲寿  
(公印省略)

令和6年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和6年12月11日付け教県第1582号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

回数	日時	場所	出席状況
第1回	令和6年6月3日(月)	泊高校本館2階4組	職員8名 評議員5名
第2回	令和6年10月21日(月)	泊高校本館2階4組	職員9名 評議員5名
第3回	令和7年2月20日(木)	泊高校本館2階4組	職員9名 評議員4名

2 学校評議員に求めた事項

- ①開かれた学校づくりの充実に関する意見、助言
- ②教育課程の充実に関する意見、助言
- ③学習指導、進路指導の充実に関する意見、助言
- ④生徒支援、教育相談の充実に関する意見、助言
- ⑤特別活動の充実に対する意見、助言
- ⑥健康安全に関する充実に関する意見、助言

3 学校評議員の意見

- ①教育目標・経営方針を三部(午前部、夜間部・通信)で共有し、更なる教育実践に取り組んでほしい。
- ②生徒・保護者・地域等に泊高校の魅力や存在意義をさらに発信してほしい。
- ③本県における就学支援センターの存在意義は大きい。関係機関との更なる連携及び情報発信に取り組んでほしい。
- ④多様な背景を持つ生徒への支援・教育活動に敬意を表します。引き続きチーム支援による組織的な対応に取り組んでほしい。
- ⑤個々の生徒に対応した進路指導に取り組んでほしい。
- ⑥先生方の熱意と努力に感謝いたします。働き方改革・ストレスマネジメント等にも充分留意されてください。

4 学校運営に反映した事項

- ①各部発足職員会議並びに三部合同職員会議等により教育目標・経営方針の周知・共有ができた。また、育成評価面談を活用して取組の確認、教育実践ができた。
- ②懸垂幕の設置、ホームページの更新、新聞記事掲載、対象者別(中学進路担当、適応指導教室、生徒・保護者)の学校説明会を実施し情報発信を強化することができた。さらにタイムス教育賞正賞受賞により本校の魅力・存在意義の情報発信に繋がった。
- ③関係機関との連携強化、ホームページやリーフレット並びに県主催の教職員研修機会を活用して情報発信の強化ができた。
- ④多様な背景を持つ生徒に対し、教育相談、支援員、SC等との連携を強化し、迅速なケース会議等、個々に寄り添った丁寧な支援体制の構築、外部機関との連携強化など、チームとして学校全体で教育実践ができた。また、関係機関等との連携を深め、次年度設置する「サポートルーム」の準備・運営に努める。
- ⑤外部人材を活用し、個々の生徒に対応した進路指導の充実に取り組むことができた。
- ⑥衛生委員会の活性化、教育DXの推進等により働き方改革の推進ができた。

5 課題その他

- ①更なる「学校生活が楽しい」と思える居場所作りが必要である。
- ②自己肯定感を育む教育実践の工夫・充実が必要である。
- ③多様な背景を持つ生徒、特別な支援が必要な生徒への対応を図るため、引き続き教員の資質向上が必要である。